

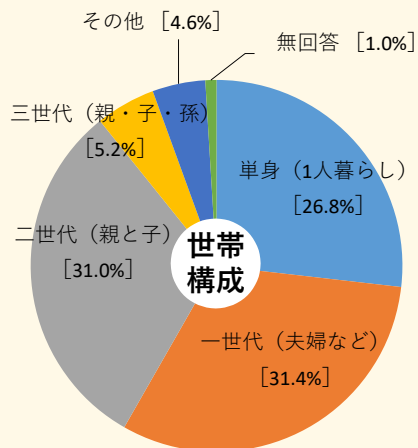
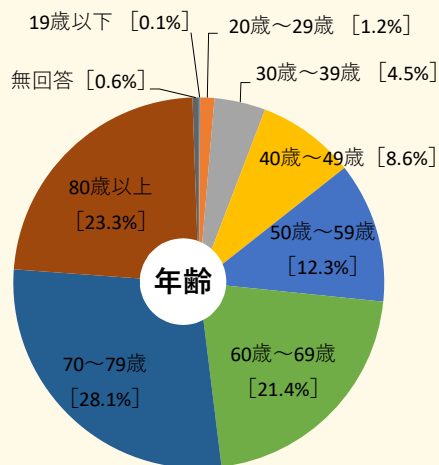
高台移転に関するアンケート調査結果について

●調査概要

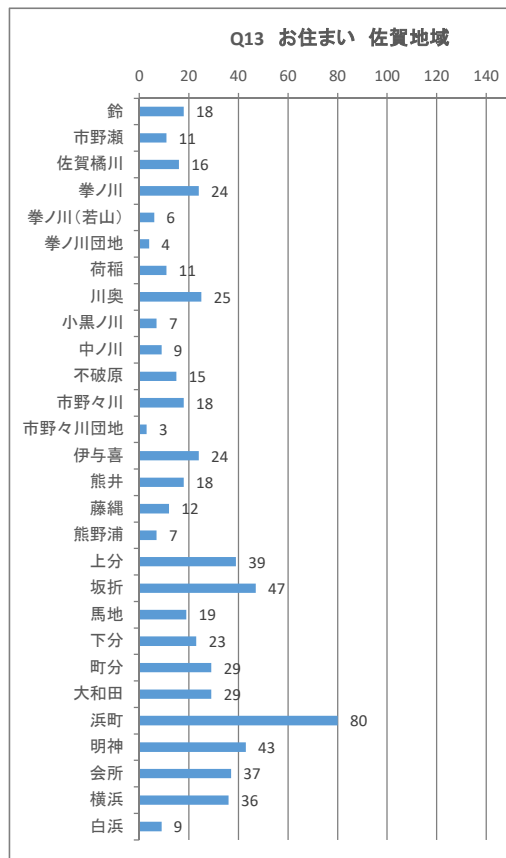
- ◎アンケート実施期間：2021年11月29日～12月10日（回答期限）
- ◎アンケート回答数/配布数：2,510件/5,468件（回答率45.9%）

●回答者属性（年齢・世帯構成）

- ◎年齢について、高齢者から多くの回答を得る結果となった。
- ◎世帯構成について、**一世代と二世代の合計が6割**を占めている。また、**単身者も3割弱**見られる。



●回答者の居住地域

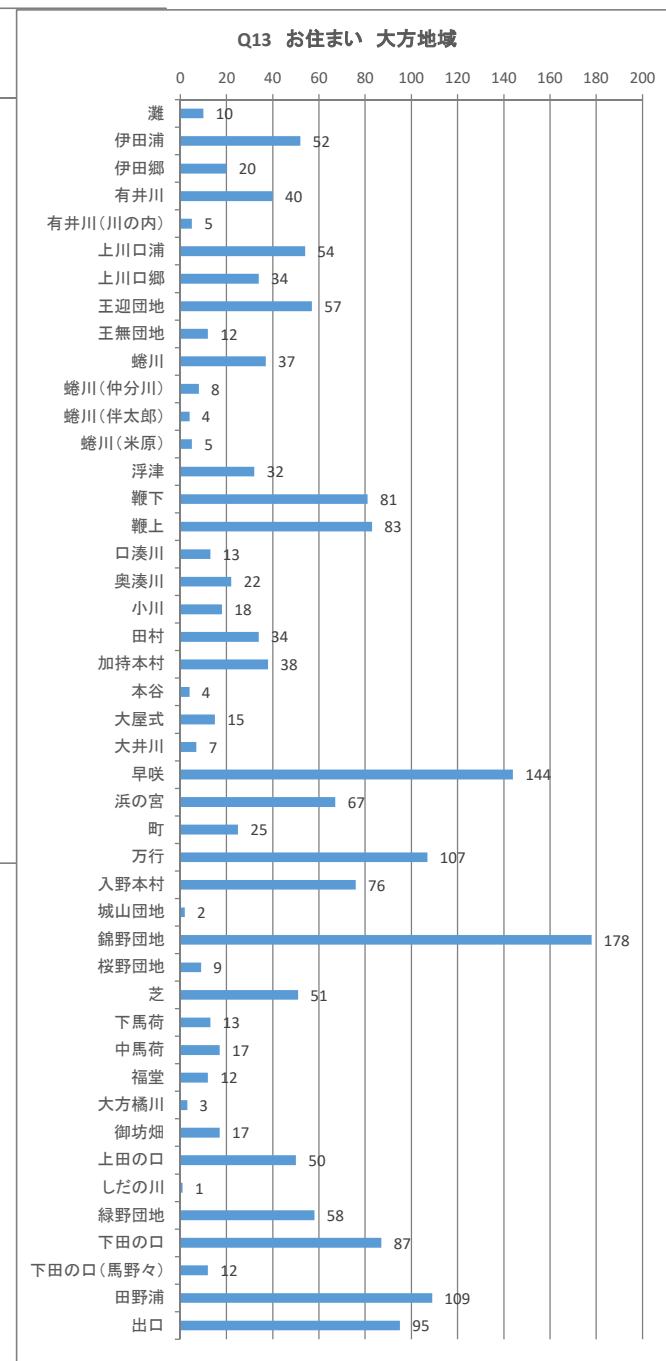


佐賀地域計 619件

上記以外・分からない	11
空欄	51

その他計 62件

合計 2,510件

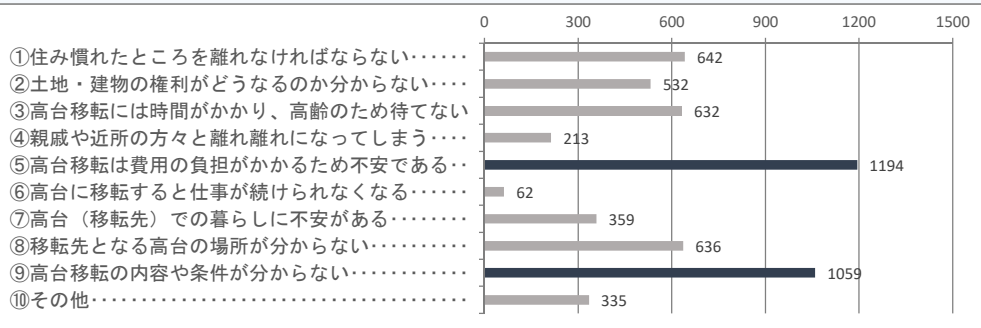


大方地域計 1,829件

高台移転に関するアンケート調査結果について

◎「高台移転」への考え方について

単純集計

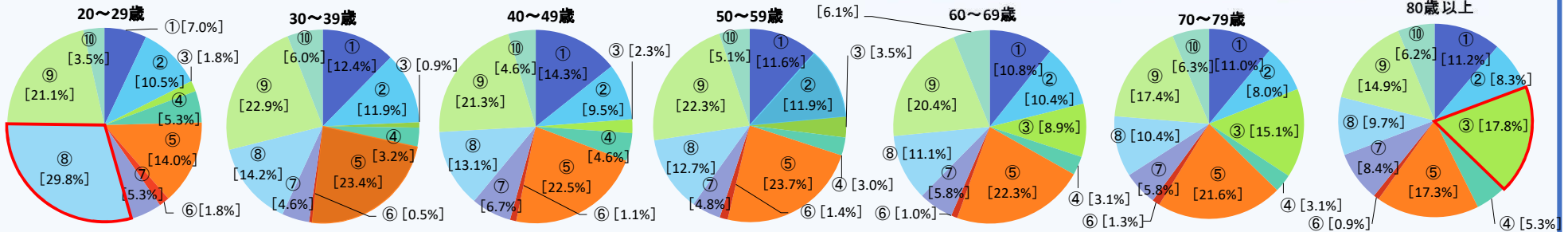


「③高台移転には時間がかかり、高齢のため待てない」と回答した方は**年齢が高くなるにつれて多い**結果となった。**20歳代**では、「⑧移転先となる高台の場所が分からない」が最も多く、どの年代においても「⑤高台移転は費用の負担がかかるため不安である」「⑨高台移転の内容や条件が分からない」の回答が一定数あった。

全回答者の**約半数** (1194/2510)
高台移転は**費用の負担がかかるため不安**と回答

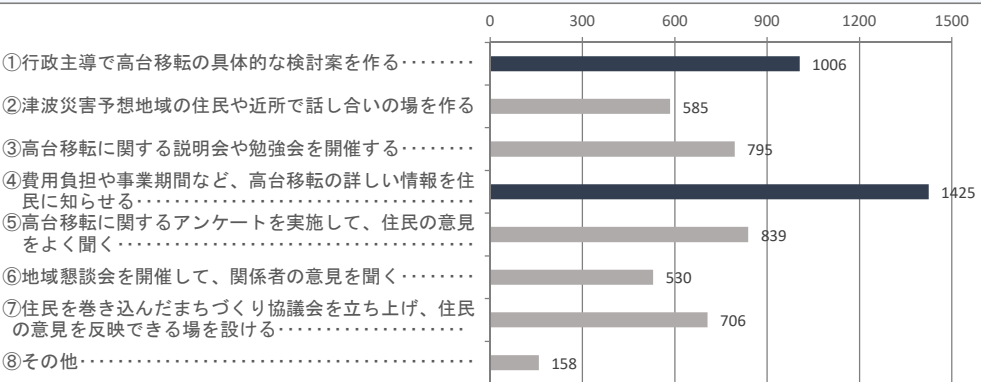
説明会等での移転内容・条件の情報提供が必要

クロス集計 (年齢)



◎「高台移転」の推進に向けての、取り組みの必要性について

単純集計

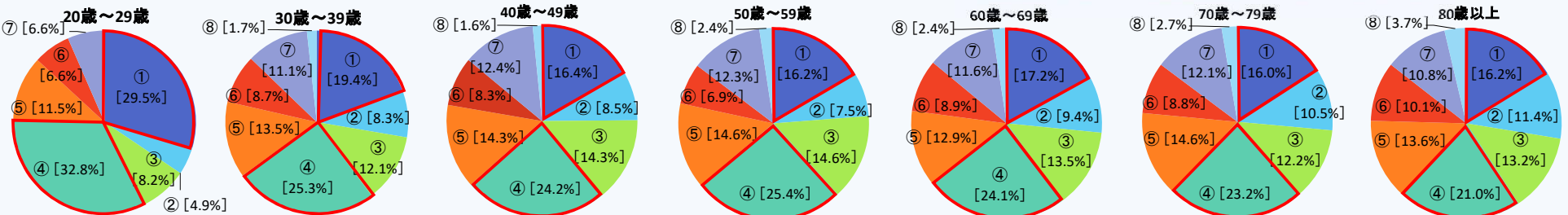


単純集計でもクロス集計でも、**全ての項目において、一定の必要性**が見られた。高台移転の推進に向けた取り組みについては、全体的に「①行政主導で高台移転の具体的な検討案を作る」「④費用負担や事業期間など、高台移転の詳しい情報を住民に知らせる」が多い傾向となった。

全回答者の**6割弱** (1425/2510)
費用負担や事業期間など、高台移転の**詳しい情報を住民に知らせることが必要**と回答

説明会等での情報周知が求められる

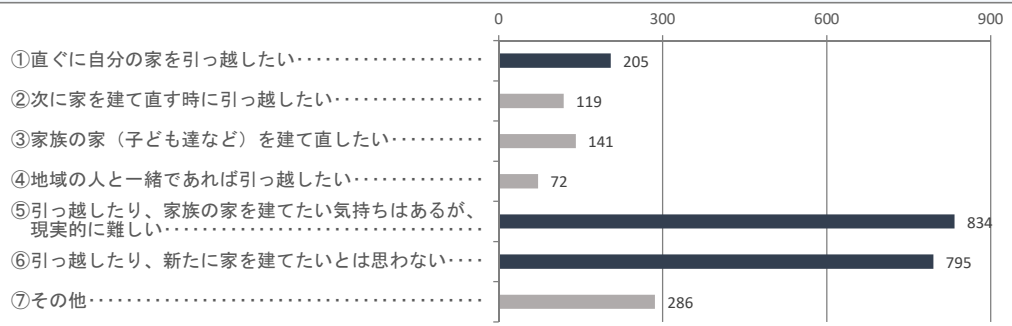
クロス集計 (年齢)



高台移転に関するアンケート調査結果について

◎高台に住宅地が整備された場合の引っ越しの検討について

単純集計

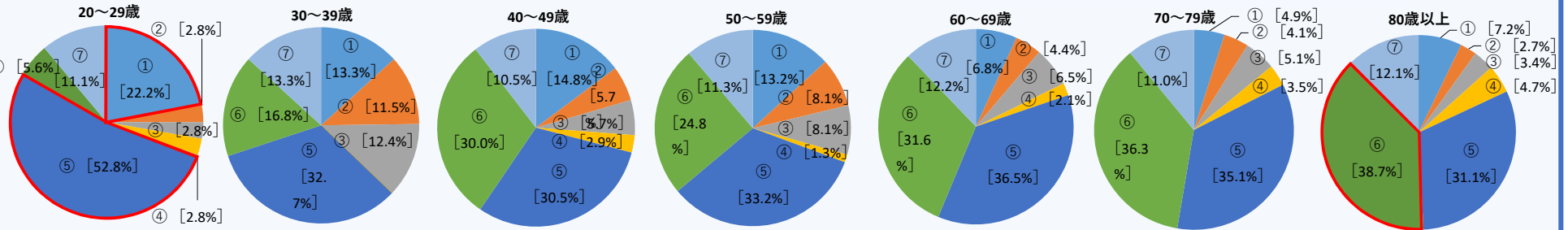


年齢が若いほど「①直ぐに自分の家を引っ越したい」回答が多くなり、高齢になるほど「⑥引っ越ししたり、新たに家を建てたいとは思わない」回答が多くなる。一方、20歳代では「⑤引っ越ししたり、家族の家を建てたい気持ちはあるが、現実的に難しい」と回答する人が**過半数**を超えるなど、現実には実現は難しいとの考えも見られる。

全回答者の約3割強 (834/2510)
高台への移転に関心があるが、現実的に難しいと回答

丁寧な説明と情報の発信が必要

クロス集計（年齢）



●自由意見

自由意見を7つの項目で割り振った結果、高台移転に基本的に賛成する旨の意見が**21%**、高台移転に基本的に反対・現実的ではないとする意見が**14%**であった。また、防災・避難のための整備を求める声もあることが分かった。

